

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	TAKUMI宮原教室		
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		2025年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	26	(回答者数) 13
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日		2026年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数) 5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育を通して、身体機能の向上だけでなく、指示理解や順番を待つ力、気持ちの切り替えといった自己調勢力の育成を意識した支援を行っている。	活動は「準備→実施→クールダウン」の流れを固定し、見通しを持って参加できるようにしている。また、成功しやすい課題設定を行い、達成感を積み重ねられるよう工夫している。	子どもの反応や参加の様子を記録し、運動量だけでなく行動の面的変化も振り返ることで、より発達段階にあったプログラム作成に繋げる。
2	身体を動かす活動を中心に、子どもが楽しみながら参加できる環境を整えている。	視覚的な説明や見本を取り入れ、活動の見通しが持てるよう支援している。	活動内容の振り返りを行い、より効果的なプログラム作りに繋げる。
3	それぞれの年齢や発達に応じた活動内容を工夫している。	安全面に配慮し、活動前後の声掛けや環境設定を意識して行っている。	子どもの変化を記録・共有し、支援の質の向上を目指す。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・運動療育のねらいが職員間で共有されていても、声掛けや関わり方にばらつきが出る場面がある。	・子どもの状態に応じた判断を優先するあまり、支援の意図を言語化して共有する機会が十分に取れていないことが要因と考えている。	・活動ごとに「ねらい・声掛け・評価の視点」を整理し、短時間でも共有できる形にすることで、支援の一貫性向上を目指す。
2	・事業所のスペースに限りがあるため、運動療育において、同時に行える活動内容や人数に制約が生じる場面がある。	・建物構造上、十分な広さを確保することが難しく、空間を区切って使用することに限界があるため。 ・子どもの安全を最優先に考える必要があり、運動量や活動内容を調整せざるを得ない状況があるため。	・大きな動きだけでなく、バランス・体幹・協調性を意識した省スペースで行える運動を取り入れる。 ・室内環境を定期的に見直し、同線や用具配置を工夫することで、限られたスペースを有効活用していく。 ・少人数制や順番性を取り入れるとともに、省スペースで実施可能な運動療育の工夫を重ね、安全と運動量の両立を図る。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI宮原教室

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 26

回収数 : 13

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1 こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12		1		・狭く感じる	・率直なご意見ありがとうございます。活動等のスペースにつきましては、法令順守は勿論のこと、必要なスペースを確保しております。限られたスペースの中で安全に楽しく活動できるよう工夫して進めて参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	13					
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13					
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	13					
適切な支援の提供	5 こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	13				・手厚く丁寧に関わっていただきありがとうございます。	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子様の「できた」を大切に、自信に繋がるように、支援目標に沿ったプログラムを提供して参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	13					
	7 こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	13					
	8 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	13					
	9 児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	13					
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13					
	11 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7	1	2	3		・現在、交流の機会は設けておりませんが、必要に応じて検討させていただきます。
保護者へ	12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	13					
	13 「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	13					
	14 事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10				3	
	15 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	13					
	16 定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	12		1			・定期的に面談を実施しております。今後も保護者様が相談しやすい環境を整えて参ります。
	17 事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	13					

の 説 明 等	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	2		3	・季節毎にイベントを実施しており、保護者様やご兄弟児のご参加もいただいております。 ・今年度は年長児向けに就学に向けた座談会を実施し、保護者様同士の交流の場を設けさせていただきました。
	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	10	2		1	・引き続きご利用者様に周知、説明をし、相談があった際には迅速に対応して参ります。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思えますか。	11	2			・引き続き意思疎通や情報伝達が正しく行われるよう配慮して参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	13				
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思えますか。	13				
非 常 時 等 の 対 応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	12	1			・全てのご利用者様にご理解いただけますよう努めて参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	12	1			・引き続き訓練の事前事後に周知して参ります。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思えますか。	13				
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思えますか。	12	1			・引き続き療育中のお子様のご様子についてフィードバック等でお伝えして参ります。
満 足 度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	12	1			・引き続きお子様が安心してご通所いただけるように、信頼関係を構築することに尽力して参ります。
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	12	1			・引き続きお子様に「楽しかった」「また行きたい」と思ってもらえるように、活動プログラムの作成、また環境設定をして参ります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	13				・いつも優しく笑顔で子どもたちと接していただき、ありがとうございます。 これからも保護者の皆様そしてお子様に楽しく通所していただける事業所を目指し、より一層支援内容の向上に努めて参ります。不安な点や気になったことがありましたら、いつでも事業所にご連絡くださいませ。

公表 事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI宮原教室				公表日	2026年 2月 28日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・危険がないようマットやパーテーションを利用し、安全に配慮している。	・法令に遵守したスペースではあるが、人数が増えると狭く感じる。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・法令に遵守した人数配置を行っている。	・個別対応が必要なお子様がいると、禰定より多くの人員の必要性を感じる
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・スペースを区切る、イラスト付きの手順表を掲示する等している。 ・自動ドアのスイッチを切り、ドアの開閉は職員が行っている。 ・玄関の段差がない。	・ドアが重い場所や鍵が歪みややすい場所がある。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・日々道具の消毒やフロアの清掃、消毒を行い、道具が整頓された状態を維持している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	・個別の部屋はないため、パーテーションで区切ったり、面談室を利用する等してスペースを確保している。	
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	5		・日々子ども情報の共有や振り返りを行い、改善に取り組んでいる。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・年一回自己評価の実施、また半年毎の更新面談時にも意向を把握し、改善に繋げている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・日々のMTGや社内研修にて意見を把握し、改善に繋げている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・社内研修を実施している。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・年間運動スケジュールを掲示している。 ・日々支援計画を基に作成され、フィードバック時にお伝えしている。	・来所時点で知らせられると良いと感じる。
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	5		・日々の記録を基にMTGを実施し、保護者ニーズを取り入れたうえで作成している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・日々の記録を基に支援MTGを実施している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		・共有後、日々確認しながら計画に沿ったメニューを立案、支援している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・フェイスシートを活用しながら、保護者から普段の様子の聞き取りも実施している。	
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・本人支援を中心に、個々に合わせた支援内容に設定している。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・個人で立案、共有することが多いが、相談できる環境である。	

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・社内マニュアルやSNSを活用し、固定化しないよう取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	・希望によっては1人での個別活動を実施しているが、基本は小集団活動での支援を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・支援開始前に利用者の確認や提供メニューの共有を行い、支援内容について打ち合わせを実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・日々振り返りを行い、次の支援に繋げている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・日々提供メニューや子どもの様子を記録し、職員間や保護者へ共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・半年毎にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	5		・依頼に応じて情報共有を実施したり、訪問を実施したりしている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	1	・要望がないため実施していないが、行う体制は整っている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		5		
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		・現在は行っていない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・サービス提供時にフィードバックを行い、共通理解を図っている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・保護者からの要望を聞き、意見交流会を実施した。 ・療育プログラム内に親子プログラムを取り入れ、保護者と子どもの活動の場を設けている。		
35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時に行っている。		
36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・面談等により子どもや保護者の意向を確認している。		

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	5		・契約、更新面談時に説明を行い、同意を得ている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・要望に応じて実施している。	・共有が少ないと感じる。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	5		・親子プログラムや座談会で交流の場を設けている。	
	40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5		・面談対応をしている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・SNSでイベントの様子等周知している。 ・LINEや教室掲示でも情報共有を行えるよう整備している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報はすぐに片す等十分留意している。	
	43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・視覚的にわかりやすいよう図や表を用いたり、手話やジェスチャーを取り入れている。 ・LINEや掲示等様々な手法で情報伝達をしている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		5		・実施していない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・各マニュアルを作成し、事前に周知をした上で研修、訓練を実施している。	
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	4	1	・地震、火災、不審者の訓練を年1回ずつ実施している。	
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	4	1	・契約時に確認している。	・各々で確認しないとわからない。
	48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・アレルギーを確認し、食品を提供する際には保護者へ伝達している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・日々安全管理を徹底しながら支援を実施している。	
	50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・記録、共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・定期的に研修を実施している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	5		・契約時に説明、同意書にサインをいただいている。		

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名			
○保護者評価実施期間	2025年 12月 1日		～ 2025年 12月 29日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数) 21
○従業者評価実施期間	2026年 1月 6日		2026年 1月 16日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年 1月 30日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	運動療育を通して、身体機能の向上だけでなく、指示理解や順番を待つ力、気持ちの切り替えといった自己調整力の育成を意識した支援を行っている。	活動は「準備→実施→クールダウン」の流れを固定し、見通しを持って参加できるようにしている。また、成功しやすい課題設定を行い、達成感を積み重ねられるよう工夫している。	子どもの反応や参加の様子を記録し、運動量だけでなく行動の面的変化も振り返ることで、より発達段階にあったプログラム作成に繋げる。
2	身体を動かす活動を中心に、子どもが楽しみながら参加できる環境を整えている。	視覚的な説明や見本を取り入れ、活動の見通しが持てるよう支援している。	活動内容の振り返りを行い、より効果的なプログラム作りにつなげる。
3	それぞれの年齢や発達に応じた活動内容を工夫している。	安全面に配慮し、活動前後の声掛けや環境設定を意識している。	子どもの変化を記録・共有し、支援の質の向上を目指す。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	・運動療育のねらいが職員間で共有されていても、声掛けや関わり方にばらつきが出る場面がある。	・子どもの状態に応じた判断を優先するあまり、支援の意図を言語化して共有する機会が十分に取れていないことが要因と考えている。	・活動ごとに「ねらい・声掛け・評価の視点」を整理し、短時間でも共有できる形にすることで、支援の一貫性向上を目指す。
2	・事業所のスペースに限りがあるため、運動療育において、同時に行える活動内容や人数に制約が生じる場面がある。	・建物構造上、十分な広さを確保することが難しく、空間を区切って使用することに限界があるため。 ・子どもの安全を最優先に考える必要があり、運動量や活動内容を調整せざるを得ない状況があるため。	・大きな動きだけでなく、バランス・体幹・協調性を意識した省スペースで行える運動を取り入れる。 ・室内環境を定期的に見直し、同線や用具配置を工夫することで、限られたスペースを有効活用していく。 ・少人数制や順番性を取り入れるとともに、省スペースで実施可能な運動療育の工夫を重ね、安全と運動量の両立を図る。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 TAKUMI宮原教室

公表日 2026年 2月 28日

利用児童数 : 35

回収数 : 21

	チェック項目	評価				ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	14	5	2		・支援やアドバイスに満足していますが、もう少しスペースがあるとより動けると感じます。 ・子どもの人数が多い時に配慮できていれば問題ないと思います。 ・小学生の活動スペースとしては狭いと感じる。	・活動等のスペースにつきましては、法令順守は勿論のこと、必要なスペースを確保しております。限られたスペースの中で安全に楽しく活動できるよう工夫して進めて参ります。
	2 職員の配置数は適切であると思いますか。	18	2		1	・子どもの人数に対し、1人1人に適切な声掛けができていないか分からない。	・率直なご意見ありがとうございます。職員の配置数は規定に則って対応しております。お子様や保護者様が不安を感じずに安心して、ご通所いただけるように環境を整えて参ります。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	18	3			・狭いのでぶつかってしまうことが多い。 ・今日やることがホワイトボードに書かれていて文字だけではなく、イラストにしてくれてわかりやすくしてくれてありがたいです。	・率直なご意見ありがとうございます。また、ご不便おかけし申し訳ございません。怪我のないよう細心の注意を払って対応して参ります。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、子ども達の活動に合わせた空間になっていると思いますか。	20	1			・いつもきれいに整理、掃除されています。 ・トイレの近くに行くとき少し臭いがあるので改善してほしいです。	・ご不便おかけし申し訳ございません。においの原因を特定し、環境を改善・清潔を保てるよう対応して参ります。
適切な支援の提供	5 子どものことを十分に理解し、子どもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	20	1			・中に入るのに時間がかかりますが、中に入れば楽しく活動できることを先生方が理解し、優しく声掛けしてくれるのがありがたいです。	・嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き、お子様の「できた」を大切に、自信に繋がるように、支援目標に沿ったプログラムを提供して参ります。専門性につきましては、重説に経歴、資格が記載されておりますが、より伝わりやすいよう努めて参ります。
	6 事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	19			2	・申し訳ありませんが、公表されている支援のプログラムは見えておりませんでした。	・全てのご利用者様へご理解いただけるよう支援プログラムと支援内容を丁寧に説明して参ります。
	7 子どものことを十分理解し、子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	21				・とても良く見てくださっていて感謝しています。手話を覚えて使って子どもに伝えてくれてとても助かります。以前よりも指示が伝わっていると思います。ありがとうございます。	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子様や保護者様からお伺いしたニーズや課題についてはもちろんのこと、日々のお子様の様子から支援計画を作成して参ります。
	8 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	16	1		4	・声の指示だけではなくイラスト、写真、ジェスチャー、手話などでわかりやすくやる内容を伝えてくれるので助かります。	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子様や保護者様からお伺いしたニーズや課題についてはもちろんのこと、日々のお子様の様子から支援計画を作成して参ります。
	9 放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	20			1	・いす取りゲームの時に音楽が止まったら座るのが一般的が、補聴器をしているので電気が消えたら座るとルールを工夫してくれてとてもありがたかったです。	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後も継続して支援して参ります。
	10 事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	19			2	・その日に本人にやりたい運動を聞いて取り組んでくださっています。 ・毎月、毎週色々なプログラムがあると子どもが楽しく参加できています。	・嬉しいご意見ありがとうございます。引き続きお子様が楽しく活動できるようにプログラムを考えて参ります。
	11 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会がありますか。	4	4	8	5	・それぞれ違う学校・学年の子たちが集まっているのでとても良い刺激になっています。 ・必要ない。	・現在、交流の機会は設けておりませんが、必要に応じて検討させていただきます。
12 事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	20	1				・全てのご利用者様へご理解いただけるよう努めて参ります。	

保護者への説明等	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	20	1				・全てのご利用者様へご理解いただけるよう努めて参ります。
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	14	4	2	1	・親子プログラムがあり、活動の様子を見られるのはとても良いが、支援プログラムになっているかはわからない。「学習」より「運動」のプログラムをしてほしい。	・率直なご意見ありがとうございます。職員間で共有、検討して参ります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	18	3			・毎回その日の状況を教えてくださいます。 ・○○をやってこんな風に見えるようになりましてと報告していただけます。毎回楽しみです。 ・フィードバック時にその日の様子を細かく説明してくれるので嬉しいです。	・嬉しいご意見ありがとうございます。引き続き療育後にはフィードバックにてその日の様子を含めてお伝えして参ります。
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	18	3				・定期的に面談を行っております。引き続き保護者様が相談しやすい環境を整えて参ります。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	19	2			・先生方一人一人がとても親切で子供も話しやすく活動できているようです。	・嬉しいご意見ありがとうございます。引き続きお子様の状況やご様子に合わせて対応させていただきます。
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	13	3	3	2	・父母会は必要ない。 ・イベントなど魅力的な内容で子どもも参加意欲がわいています。	・率直なご意見ありがとうございます。今年度は年長児向けに就学に向けた座談会を実施し、保護者様同士の交流の場を設けさせていただきます。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	14	4		3		・引き続きご利用者様に周知、説明をし、相談があった際には迅速に対応して参ります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	17	4				・引き続き意思疎通や情報伝達が正しく行われるよう配慮して参ります。
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	13	5	1	2	・TAKUMIのInstagramを見ているのですが更新頻度が低く残念です。全教室だと見にくいので教室ごとにしてほしいです。プログラム中の様子をもっと知りたいです。 ・今月のプログラムを毎月LINEで送っていただけるのでありがたいです。	・嬉しいご意見、また率直なご意見ありがとうございます。SNSに関しましては検討して参ります。プログラムは引き続き毎月お送りさせていただきます。
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	18	3				・引き続き十分に留意して参ります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	17	3		1		・全てのご利用者様にご理解いただけますよう努めて参ります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	19	2				・引き続き訓練の事前事後に周知して参ります。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	17	3		1	・訓練の前にLINEで連絡して頂けるので子どもに事前に伝えることができる。	・引き続き事前にお伝えし、お子様の不安を軽減した状態で実施して参ります。
	26	事故等(怪我等を含む。)が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	17	3		1	・小さな怪我でもきちんと報告をしてくださり感謝しています。	・今後も療育中のお子様のご様子についてフィードバック等でお伝えして参ります。
満足	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	21				・通い始めて1年になりますが、大分環境にも慣れて素の子どもの状態を出せてきていると感じています。	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子様が安心してご通所いただけるように、信頼関係を構築することに尽力して参ります。
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	19	2			・11月に行ったなわとびが気に入ったようで体操=なわとびのイメージが強くなり、「これから体操だよ」と伝えると「なわとび? やったー」と喜んで向かっています。12月は「ボールだよ」と伝えると「ボール、投げる」と嬉しそうに喜んで向かっています。 ・狭いせいか活動内容が物足りなく感じる時がある(ドッジボールやおにごっこなど)	・嬉しいご意見ありがとうございます。今後もお子様に「楽しかった」「また行きたい」と思っていたら、活動プログラムの作成、また環境設定をして参ります。

度	29	事業所の支援に満足していますか。	18	3		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもに寄り添って1人1人に合った支援をしてくださるのでここに通えて良かったと思っています。 ・フィードバックでその日の活動の内容がイメージできるような説明を時間軸で話していただくとわかりやすい。子どもにとってその日どういう目的で具体的にどのような支援をしたのか？がもう少し伝えてほしい。（見学することができないので） ・困りごとを聞いていただけたり、子どもの様子を教えていただけたりしながら、楽しく運動を教わっています。本人も自信に繋がるようです。 	<ul style="list-style-type: none"> ・嬉しいご意見ありがとうございます。これからも保護者の皆様そしてお子様楽しく通所していただける事業所を目指し、より一層支援内容の向上に努めて参ります。不安な点や気になったことがありましたら、いつでも事業所にご連絡くださいませ。 ・フィードバックに関しまして率直なご意見ありがとうございます。ご意見を基に改善して参ります。また、見学の機会を設けられるよう検討して参ります。
---	----	------------------	----	---	--	--	--

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	TAKUMI宮原教室				公表日	2026年 2月 28日	
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	5		・危険がないようマットやパーテーションを利用し、安全に配慮している。	・法令に遵守したスペースではあるが、人数が増えると狭く感じる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	5		・法令に遵守した人数配置を行っている。	・個別対応が必要なお子様がいると、現状より多くの人員の必要性を感じる時がある。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	5		・スペースを区切る、イラスト付きの手順表を掲示する等している。 ・自動ドアのスイッチを切り、ドアの開閉は職員が行っている。 ・玄関の段差がない。	・ドアが重い場所や鍵が歪みややすい場所がある。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5		・日々道具の消毒やフロアの清掃、消毒を行い、道具が整頓された状態を維持している。	・ボールや風船等空間を使う運動には適していないと感じる。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	2	3	・個別の部屋はないため、パーテーションで区切ったり、面談室を利用する等してスペースを確保している。		
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5		・日々子ども情報の共有や振り返りを行い、改善に取り組んでいる。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・年一回自己評価の実施、また半年毎の更新面談時にも意向を把握し、改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5		・日々のMTGや社内研修にて意見を把握し、改善に繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	5				
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5		・社内研修を実施している。		
適切な支援	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5		・年間運動スケジュールを掲示している。 ・日々支援計画を基に作成され、フィードバック時にお伝えしている。	・来所時点で知らせられると良いと感じる。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5		・日々の記録を基にMTGを実施し、保護者ニーズを取り入れたうえで作成している。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		・日々の記録を基に支援MTGを実施している。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5		共有後、日々確認しながら計画に沿ったメニューを立案、支援している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5		・フェイスシートを活用しながら、保護者から普段の様子聞き取りも実施している。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5		・本人支援を中心に、個々に合わせた支援内容に設定している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	4	1	・個人で立案、共有することが多いが、相談できる環境である。		

援 の 提 供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5		・社内マニュアルやSNSを活用し、固定化しないよう取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	4	1	・希望によっては1人での個別活動を実施しているが、基本は小集団活動での支援を実施している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	5		・支援開始前に利用者の確認や提供メニューの共有を行い、支援内容について打ち合わせを実施している。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5		・日々振り返りを行い、次の支援に繋げている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5		・日々提供メニューや子どもの様子を記録し、職員間や保護者へ共有している。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5		・半年毎にモニタリングを行い、個別支援計画の見直しの必要性を判断している。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	5			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		自由時間を中心に自己選択をして行動できる機会を設けている。	
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5		児発管や普段関わる指導員が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3	2	・特に学校訪問時は連絡を取り、情報共有を行っている。	・送迎は実施していない。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定子ども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3	2	・各機関との連携は少ないが、保護者にヒアリングを行い、情報共有を行っている。	・要望がない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	5			・要望がない。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4		現在は行っていない。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。		5		
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		・サービス提供時にフィードバックを行い、共通理解を図っている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	5		・保護者からの要望を聞き、意見交流会を実施した。 ・療育プログラム内に親子プログラムを取り入れ、保護者と子どもの活動の場を設けている。	
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		契約時に行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5		・面談等により子どもや保護者の意向を確認している。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5		・契約、更新面談時に説明を行い、同意を得ている。	

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5		・要望に応じて実施している。	・共有が少ないと感じる。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5		・親子プログラムや座談会で交流の場を設けている。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5		・SNSでイベントの様子等周知している。 ・LINEや教室掲示でも情報共有を行えるよう整備している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5		・個人情報はずぐに片す等十分留意している。	
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5		・視覚的にわかりやすいよう図や表を用いたり、手話やジェスチャーを取り入れている。 ・LINEや掲示等様々な手法で情報伝達をしている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	1	4		・実施していない。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5		・各マニュアルを作成し、事前に周知をした上で研修、訓練を実施している。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5		・地震、火災、不審者の訓練を年1回ずつ実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5		・契約時に確認している。	・各々進んで確認しないとわからない状況だが、センシティブな情報でもあるので大きく開示できない。改善方法を模索していく。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5		・アレルギーを確認し、食品を提供する際には保護者へ伝達している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5		・日々安全管理を徹底しながら支援を実施している。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	5		・記録、共有している。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5		・定期的に研修を実施している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	5		・契約時に説明、同意書にサインをいただいている。		